

いよいよ本格始動！

「北国街道にぎわい創出プロジェクト」

野々市中央地区の拠点

平成 31 年 4 月
開館予定！



地域中心交流拠点施設



学びの杜のいち カレード



旧北国街道



喜多家住宅



文化会館フォルテ

プロジェクトの展望

野々市中央地区には、かつて旧町役場や大型商業施設などが立地し、本市の中心地としてにぎわいを見せていました。しかし、大型商業施設の撤退、市北部や南部での商業地の形成などにより、かつての活気が薄れつつあります。そこで、市は野々市中央地区ににぎわいを創出するための拠点となる施設の整備を進めてきました。

昨年11月に開館した文化交流拠点施設「学びの杜のいち カレード」は、市立図書館と市民学習センターの機能を有しています。今年6月には開館からの利用者が30万人を超えるなど、市民の学習の場として、その役割を大いに果たしています。

また、来年4月には旧市立図書館・旧中央公民館跡地に「地域中心交流拠点施設」の開館を予定しています。地域中心交流拠点施設は市民交流機能、生涯学習機能、民間商業機能を備え、市の新たなにぎわいと交流の中心地となることが期待されます。

近年では、野々市中央地区に位置する文化会館フォルテや旧北国街



北国街道にぎわい創出プロジェクト



国 指定重要文化財の喜多家住宅や旧北国街道など歴史や文化、伝統が残る、多くの地域資源が集積する野々市中央地区。

市では野々市中央地区周辺で実施する事業を総じて『北国街道にぎわい創出プロジェクト』と銘打ち、新たな魅力とにぎわいを創出するための取り組みを加速させます。

道、喜多家住宅など、この地域を会場に実施するイベントが増えています。今後はカレードと地域中心交流拠点施設を活用することはもちろん、フォルテや旧北国街道、喜多家住宅で行うイベントをさらに増やし、地域全体のにぎわいを創出します。

北 国街道にぎわい創出プロジェクトでは、野々市中央地区でのイベントの開催に加え、まちづくりに取り組む人材の育成、特産品の開発研究や観光振興、古民家再生などを進めてヒトづくり・モノづくり・コトづくりに取り組み、未来に伝えるべき地域と地域資源を生かした「持続可能な野々市」の創出を目指します。



地域中心交流拠点施設の完成予想図

新たな魅力の

創出

さらなるにぎわいの

地域中心交流拠点施設 オープニングイベント

開催時期

平成 31 年 3 月 30 日(土)・31 日(日)

内容

新しい施設の開館を市民の皆さんと盛り上げるためのイベントを企画しています！

☎ 生涯学習課

3 月

☎ 地域振興課 ☎227-6160
市民協働課 ☎227-6029
生涯学習課 ☎227-6116

北国街道ツアー

開催時期

10 月に 2 回開催

内容

ガイドとともに北国街道を歩き、歴史と魅力を肌で感じてください！

☎ 地域振興課



市民活動検討委員長
岩井 繁樹 氏

市民活動検討委員会では毎月 1 回の定例会を行い、地域中心交流拠点施設の活用について意見を交換しています。これまで市民活動の経験がない人も気軽に参加できるような企画ができたかと考えています。

野々市には市民活動を行っている団体も多くありますが、市民活動の文化がまだ定着していないと感じることもあります。地域中心交流拠点施設が開館すると、さまざまな団体や人が同

じ場所で活動することが増えます。他の団体や人の活動を実際に見ることで得られるものも大きいでしょう。それぞれが切磋琢磨し、スキルを磨くことが野々市の魅力につながっていくと信じています。市内には 2 つの大学もあるので、若い人もどんどん参加してほしいですね。野々市中央地区は野々市らしい風情があふれる場所なので、もっと多くの人にこの魅力を知ってもらいたいと思います。

北国街道 にぎわい創出プロジェクト

まち・ひと・にぎわいセミナー

開催時期

11 月以降、順次開催

内容

にぎわいのある街をつくるにはどうしたらよいか、地域づくりを実践する人を講師に迎えてセミナーを開催します！

☎ 地域振興課

地域中心交流拠点施設

開館までの主なイベント



地域中心交流拠点施設の開館を目前にした来年 3 月までに行われる、各プログラムを紹介します。北国街道や古民家を会場に開催するイベントや、地域中心交流拠点施設の活用方法を考えるワークショップ、にぎわいを創出する地域づくりに関するセミナーなどが盛りだくさん！これらに参加することで、今まで気付かなかった新たな野々市の魅力が発見できるかもしれません。

北国街道イベント

開催時期

8 月 4 日(土) 風鈴づくり体験以降、順次開催

内容

北国街道に所在する古民家などを利用したイベントを行います！

☎ 地域振興課

ファシリテーター養成講座

開催時期

8 月以降、5 回開催

内容

団体活動などで、それぞれの意見を中立の立場で聞きだす、ファシリテーターの手法を学びましょう！

☎ 市民協働課

シリーズ「北国街道を学ぶ」

開催時期

7 月 20 日(金)、8 月 6 日(月)、9 月 3 日(月)

内容

江戸時代には五街道に次いで重要とされた北国街道。その歴史や文化の魅力をたっぷり紹介します！

☎ 地域振興課

事業企画推進員の養成

募集時期

7 月から

内容

地域中心交流拠点施設や北国街道を舞台に、自分たちで考えた企画を自分たちの手で実現させましょう！

☎ 生涯学習課

市民活動センター アイデアワークショップ

開催時期

7 月 8 日(日)

内容

地域中心交流拠点施設内にできる市民活動センター。どんな風に利用できるかを、情報技術の観点を中心に検討します！

☎ 市民協働課

7 月



喜多家おそうじ作戦（喜多家住宅）



CoCo ARC（学びの杜のいち カレード）

これからの野々市中央地区に期待すること



市観光物産協会会長
魚住 正栄 氏

観光物産協会は平成26年12月の発足以降、県内だけでなく県外のイベントなどにも出店し、商品販売や観光PRを行っています。また、市を紹介する漫画「のって！野々市」や、市内の美味しいスイーツを紹介する「のいちスイーツマップ」を発行し、野々市の魅力を発信してきました。

来年4月に開館する地域中心交流拠点施設の民間商業施設には観光案内所なども設置されます。野々市中央地区ににぎわいを創るためにはどのような運営するかが重要で、皆さんに「ここに来れば何かある」と思ってもらえるような仕掛けを作りたいと考えています。定期的なマルシェ（市場）の開催など充実したイベントを実施するほか、創業を志す人の支援にも力を入れたいですね。

私は昨年から公民館の事業推進員を務めています。事業推進員は、地区運動会や料理教室など、公民館が主催するイベントのスタッフをしたり、今後の事業企画を考えたりしています。

私自身は事業推進員としての経験が浅く、まだ分からないことも多いですが、野々市中央地区に活気を生み出すためにも、新しくできる地域中心交

流拠点施設は誰もが気軽に訪れることのできる場所になってほしいと願っています。そのためには大人はもちろん、小さな子にも魅力的な催しを行い、若い親子連れも参加しやすいイベントを企画することが大切だと思います。



野々市公民館事業推進員
田中 真美子 氏

野々市中央地区での交流が盛んになり、そこににぎわいが市内全域に広がってほしいですね。



北国街道野々市の市（北国街道）



まち・ひと・にぎわいセミナー
（学びの杜のいち カレード）

市民と創る にぎわいのまち



ヤーコンCAFE（郷土資料館）

市は、市民協働のまちづくりを推進しており、これまでも市民の皆さんと一緒に数々のにぎわいづくりに取り組んできました。その中には、学びの杜のいち カレードを会場とした音楽・芸術のワークショップイベント「CoCo ARC（ココアーク）」、郷土資料館の「六日町かふえ」でヤーコンの加工健康食品を販売する「北国街道ヤーコンCAFE」など、野々市中央地区で行うイベントも多数展開されています。

本町二・三丁目の旧北国街道を舞台に平成23年から毎年行われている「北国街道野々市の市」は、「野々市」という地名の由来にもなっている、かつての「市」のにぎわいを北国街道で再現したい」という思いから始まった市民発信のイベントで、飲食や展示、劇など多彩な出し物を楽しむことができます。

また、これまでに『北国街道にぎわい創出プロジェクト』の一環として、「まち・ひと・にぎわいセミナー」や「喜多家おそうじ作戦」を実施しました。

これからも市民と行政が協力して取り組み、野々市中央地区の魅力を最大限に引き出し、ひととモノが交流する、かつての「市」のようなにぎわいを取り戻していきます。



地域中心交流拠点施設 愛称募集

来年4月に開館予定の地域中心交流拠点施設のにぎわいゾーンについて、多くの人に親しまれるような愛称を検討しています。そこで、この施設を利用し、活躍する皆さんからのアイデアを募集します。

■募集期間

7月1日(日)～8月10日(金)

※必着（郵送の場合は当日消印有効）

■応募資格

県内に在住、在勤、在学の人 ※1人3点まで

■作品内容

- ・本施設の特徴やコンセプトがイメージできるもの
- ・覚えやすく親しみやすいもの
- ・オリジナルで未発表のもの
- ・他の著作物などを使ったり真似たりしていないもの

■応募方法

・愛称（ふりがな）、愛称の説明（意味、思いなど）、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、年齢、性別、連絡先（電話番号）、勤務先・学校名（県外に在住の人のみ）を明記し、はがき、ファックス、メール、応募用紙で送付または直接持参



〒921-8510 野々市市三納一丁目1番地
野々市市役所 中央地区整備事業対策室
☎ 227-6012 FAX 227-6258
✉ central_nonoichi@city.nonoichi.lg.jp

■選考方法

応募作品を選考委員会で審査のうえ、採用作品を決定

■賞

最優秀賞（採用作品）1点：賞金3万円

優秀賞3点：賞金1万円

■その他

- ・受賞作品、受賞者について市ホームページや広報野々市などで公表します
- ・採用作品に関する著作権などの一切の権利は、野々市市に帰属するものとします
- ・応募作品について著作権などに関する問題が生じた場合、全て応募者の責任となります
- ・応募作品は返却しません。また、応募に係る費用は応募者の負担とします
- ・応募に関する個人情報、本愛称選定に関わる事務以外には使用しません

地域中心交流拠点施設の完成予想図

地域中心交流拠点施設ってどんな施設？

地域のコミュニティ拠点であり、市民の教養を高めるさまざまなサークル活動などの拠点となる「中央公民館」、市が推進する“市民協働のまちづくり”や“野々市ブランドの確立”の拠点となる「市民活動センター」の公共施設に加えて、市の特産品の販売や観光PR拠点となる「民間商業施設」を一体的に整備します。

建設地は野々市尋常高等小学校や旧町役場の跡地であり、野々市の歴史が刻み込まれた場所です。この地に再び息を吹き込み、市民の皆さんが活躍する舞台として建設するのが、この地域中心交流拠点施設です。

建設コンセプト

「にぎわい交流ゾーン」の創出 - ヒトとモノが交流し、にぎわいを創出する -

- ・地域住民や若者（学生）、買い物客の幅広い“市民”が集まる空間づくり
- ・市の地場産品の販売を通じた、市固有の資源を多くの人に伝えるPR拠点づくり
- ・旧北国街道など市が有する地域資源を活用した地域のにぎわい再生
- ・祭礼行事やイベントの開催場所にもなる「市（いち）」によるにぎわいの再現

